

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名: 茨城栃木鳥獣害広域対策協議会参画事業
事業区分: 新規/継続, 単独/補助, 継続, 単独
事務事業No: 050105000866
所属課: 050101, 農林課
政策体系: 総合計画の施策名: 0501 農業の振興
政策名: 05 魅力と活力のある産業社会づくり
施策名: 01 農業の振興
基本事業名: 05 農村環境の保全
事業期間: 単年度繰返し (年度~)
有害鳥獣対策事業

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
手段: 自然豊かな八溝山地を有する茨城・栃木両県における地域の鳥獣被害を防止するため、市町村の枠を超え広域で緊密に連携し、様々な取り組みを行うことを目的としている。
・役員会及び総会への出席
・研修会への参加
・広域でのイノシシ一斉捕獲実施に係る事務
・負担金の支払い
・その他各種事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)
④活動指標 (活動量を表す指標)
単位: 市町
27年度(実績): 15.00, 28年度(実績): 15.00, 29年度(計画): 15.00, 30年度(目標): 15.00, 31年度(目標): 15.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)
⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)
単位: ha
桜川市における農作物の被害面積
27年度(実績): 17.27, 28年度(実績): 16.00, 29年度(計画): 10.00, 30年度(目標): 10.00, 31年度(目標): 10.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)
⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)
単位: 千円
桜川市における農作物の被害金額
27年度(実績): 17,470.00, 28年度(実績): 16,800.00, 29年度(計画): 10,000.00, 30年度(目標): 10,000.00, 31年度(目標): 10,000.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

27年度(実績), 28年度(実績), 29年度(計画), 30年度(目標), 31年度(目標), 期間限定総投入量
事業費内訳: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源
事業費計(A): 30
人件費: 正規職員従事人数 (1.00人), 述べ業務時間 (15.00時間), 人件費計(B): 44
トータルコスト(A)+(B): 74

28年度事業費実績 (千円), 29年度事業費予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金: 30
合計: 30

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する
・主要事業
・市長マニフェスト
・未来PJ事業
・合併建設計画事業

事務事業名	茨城栃木鳥獣害広域対策協議会参画事業	事務事業No.	50105000866	所属課	農林課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 増加する鳥獣被害に対応するため、農林水産省からの勧めにより県境を越えた広域での協力体制で、鳥獣被害防止対策を実施することとなった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市町単独ではなく、周辺市町が連携することによってできる、効率的な対策が期待されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 市の有害鳥獣捕獲隊との調整を行い、一斉捕獲ができるよう進めていく必要がある。 改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 有害鳥獣による被害は増大しており、対応策の一つとして近隣市町との連携による被害防止対策は必要不可欠である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町単位での連携が望ましいと思われる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 茨城県・栃木県の境にある八溝山地沿いのイノシシ被害が多い市町が参加している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 他市町村との連携が薄れ、広域での一斉捕獲もできなくなるため、捕獲の成果が落ちると予測される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他市町村との連携については他に類似事業が無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 参加市町が一律で負担金を支払っており、負担額の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である イノシシによる被害は市内の広範囲に及んでおり、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 広域で連携することで、単独では実施が難しい対策が出来るようになった。今後は更なる協力体制の下、より効率的な被害防止対策を実施していく。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 引き続き猟友会との調整を行い、近隣市町との一斉捕獲を進めていく。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑧ コスト削減優先度評価結果 ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
--	---